

## 第11回富山市まち・ひと・しごと総合戦略会議 議事要旨

日時：令和5年2月9日（木）14：00～15：30

場所：富山市役所 8階802会議室

出席者：下記のとおり

### 1 開会

### 2 企画管理部長挨拶

### 3 委員紹介

### 4 議事

(1) 第2期富山市まち・ひと・しごと総合戦略の改訂（案）について

(2) 第2期富山市まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況について

(3) 国の地方創生関係交付金を活用した取組について

(4) 企業版ふるさと納税の活用について

事務局から一括説明

### (5) 意見交換

#### 委員

- ・ 基本目標1『産業活力の向上により、安定した雇用を創出する』について、コロナ禍、ウクライナの問題を経てステージが変わってきているのではないかと。人の不足、原材料の高騰、賃金アップが、今の経済界の一つの問題。
- ・ 出生率について結婚する人たちが大きく減っているという問題がある。賃金がしっかりとしておらず、生活できる環境が整っていない状況があり結婚することができないという流れになっているのではないかと。
- ・ 中小企業でしっかり賃金をアップし、従業員をしっかりと養う、従業員が子供を作る段階まで養うことができない企業からどんどん退場していく、というのが本来の姿だと考えるが、それだと日本は衰退するので、新たな事業がどれだけ生まれてくるかが、今の日本にとって一番大きな問題。
- ・ そのためにスタートアップや、既存の企業の中の新事業創出、そのための規制緩和ができるか、の部分がまず非常に弱いと思っている。
- ・ スタートアップ、また企業内におけるスタートアップ、そして新商品、新事業の創出に対して、補助金やバックアップできるような仕掛けをもっと入れ込んでいかないと、出生率を上げるということには繋がらないのではないかと。

- ・ 企業版ふるさと納税については、ドームやアリーナをふるさと納税で何とか解消しようというのは、今の全国のトレンド。ふるさと納税を増やすには営業が必要。

#### 委員

- ・ コロナの影響で実施できなかった事業が見受けられるが、社会経済環境の変化も見極めながら、着実に進めていただきたい。
- ・ 雇用のマッチングの強化について、コロナの影響で失職し、その後、求職活動を行っている方が多数いることから、ハローワークだけでなく、JOB活富山なども、広報し、きめ細やかな就労相談、職業紹介を行っていただきたい。
- ・ 「高いスキルを持つ65歳以上の高齢者と企業のマッチング」について、令和2年度で終了とあるが、今後、働く意欲、能力のある高齢者の方については、コロナの状況を見つつ、継続して行っていただきたい。
- ・ コロナ禍で、身体的な活動量がかなり下がっていると思われるので、歩く関係やスポーツの推進を重点的にやっていった方がいいのではないかな。

#### 委員

- ・ 戦略においても移住、富山市への転入者を増やそうということはその通りだと思うが、結局、県全体、日本全体で考えたら、本当に全体でいいことなのか。
- ・ 一方、交流人口は非常に大事。富山市としてどう取り組んでいくか、というのは極めて重要なテーマ。そういう意味で言うと、移住も大事だが、やはり出生率の目標が非常に大事になっていくだろうと思う。
- ・ 何とか稼いで子供を作っていくためには、女性も男性も定職を持って働くのが当たり前で、そういう前提でいろんな物事を考えていくことが必要だろうと思う。

#### 委員

- ・ スマート農業等やっているが、やはり売れる先があつての農業、様々な技術も育っていくものだと思うので、海外市場の開拓は非常に期待している。
- ・ 富山は東南アジア、特にタイのバンコクでは観光ポスターが貼ってあるなど、決して知名度は低くなく、イメージとしては非常にいいのではないかな。観光振興とペアでやりながら、良いイメージで売り込んでいくというのも非常にいいのではないかな。
- ・ 目標値について、フェアへ出展する延べ事業者数としているが、最終的にはどれくらい出荷できるか、とか、どれくらい地域の農林水産が潤っていくかとか、育っていくかといったところが最終的な目標だとは思っている。この目標を達成することで、どういったところが見えてくるのかといったところも含めて、

何か言及があればわかりやすいのではないか。

#### 事務局（農林水産部）

- ・ このフェアについては、今回ワンチーム富山での出展ということで、県からの割り当ての中で、富山市の割り当てが1年度あたり5事業者、ということになっており、令和5年度と6年度で10事業者ということでの数値の設定している。

#### 委員長

- ・ 表に出さなくてもよいが、行政の割り当て的な数字以外に、これをやる、といった目標があるとよいと思う。
- ・ この先KPIを達成したら、富山市はどんなまちになるのか、といったところはしっかりイメージしていただきたいし、それを市民の方々と共有できるような形にしていければよいと思う。
- ・ 農業と観光というところは大変重要な指摘。自然資源が豊かで、産業、まちづくりというところで特徴を持っているので、トータルで打ち出していくことが大事。

#### 委員

- ・ 新B1リーグ基準に向けた市総合体育館の改修計画は、県の武道館等、あのエリアにスポーツ施設が新しくできてくると思うので、県とも連携しながら、イベントの営業などの施設の有効利用が非常に重要となってくる。
- ・ 参考になると思ったのは、さいたまスポーツコミッションという、さいたまにあるスポーツコミッション団体。全国には北海道や静岡など、行政がスポーツコミッションという、イベントなどの営業を任せる外郭団体を作り、そこが体育施設の管理や、営業広報活動をやってイベントを取ってくるという団体がある。全国で180ほどあり、富山県内には魚津に1つあるだけだが、検討するタイミングにきているのではないか。
- ・ とほ活アプリについて、これは非常にいい取り組みで、数字も出てると思うが、スポーツ施設を利用した人にとほ活のポイントを付与するなど、スポーツ施設の有効活用というところで、とほ活アプリとの連携できるとよいのでは。

#### 委員

- ・ 住むということと働くこと、子育て、子供も安心、それが全部トータルであると、移住してきた人は、楽しく、ここで死ぬまで住んでいけると思う。
- ・ 観光分野においては、富山の本当の魅力とは何か、ということを見直す必要がある。

- ・ 世界的な感じだとやはり SDGs 的なもの、持続可能な地域づくりができていくかどうかというところが非常に重要な観点になっている。
- ・ そこに住む人が楽しく住んでいるところが魅力的な地域、ということもある。例えば冬の生活において、除雪がすごく大変そうだけど本当に住めるのか、とか屋根雪はどうなのか、とか、都会から来る人は車生活ってどういうものなのか、公共交通だけで生きていけるのか、とか様々な心配事がある。そのようなことに対して大丈夫、といった安心感があると、住んでもやっていけるんじゃないか、といったイメージ戦略になると思う。

#### 委員

- ・ 富山市の魅力について、具体的に言えばどういうことなのか、市民から共感が得られるような表現に噛み砕く必要がある。
- ・ 例えば、転入者が、なぜ富山市へ転入してきたか、転出者がなぜ富山から転出していくか、などリサーチして、もう少し居住者の立場に立った表現があればいいと思う。
- ・ 多様な働き方の選択肢をしっかりと整理して、市民の皆さんにも伝えていくことが必要ではないか。
- ・ 歩きたくなるまちづくりの推進について、もっと、人を中心とした、特に駅前が今大きく変わりつつあるわけなので、歩いて楽しいようなまち、景観や、公園などの整備といった部分においても、所々に休憩場等を設けるなど、人にやさしい道、通りにしていくということが必要ではないか。
- ・ 今 SDGs が、各自治体において推進されているが、多分市民の立場から言えば、今どこのレベルにあるのか、わかっていない人が多々いるのではないか。目標値はわかるが、それまで、どこのレベルまで今近寄ってきているのかということも、市民にわかるように、考えていくことも必要ではないか。

#### 委員

- ・ 富山県の雇用失業情勢については、12月現在で1.59倍。
- ・ ただ、ミスマッチの問題で職種によって偏りがあり、全国的な傾向で事務職を希望する方が多いが、求人はないということが顕著。
- ・ 都会の大学に行き、文化的な仕事をしたいということで戻ってきたい方が、地方には受け皿がなく、そのまま都会で就職してUターンしないというようなケースもある。
- ・ 公共職業安定所においても、企業の人材育成については、国の助成制度も昨年度から拡充しており、市においては、そういったデジタル化に取り組む企業や、グリーン化に取り組む企業といった方々を誘致するような動きを官民合わせてとっていただき、デジタル化を進めていくことが、受け皿を増やしていく

ことにつながっていくことと思う。

#### 委員

- ・ 自社の従業員で、家族が怪我をし、看病するしかなかったが、支援してくれる情報が何もなく、わからないということがあった。そのような何か困った時に市役所や、民生委員などの検索の仕方や、こういう時はここへ電話して相談したらよい、といったシステムがあるとよい。

#### 事務局（企画管理部）

- ・ 生活全般的な困りごとや相談については、市役所1階に市民生活相談の窓口がある。
- ・ また、富山市のホームページを更新する予定で、その中で時間外や土日においても、いろいろなご質問や総合相談等に、対応できるようにする予定。

## 5 閉会

(以 上)

富山市まち・ひと・しごと総合戦略会議委員

(五十音順、敬称略)

No.	氏名	役職	産官学 金労言	備考
1	石田 康博	連合富山・富山地域協議会 議長	労	2/9欠席
2	石動 瑞代	富山短期大学 幼児教育学科 教授	学	2/9欠席
3	上野 等	北陸電力(株) 執行役員 富山支店長	学	2/9欠席
4	竹内 誠	富山公共職業安定所 所長	官	
5	長尾 治明	富山国際大学 現代社会学部 名誉教授	学	
6	中村 和之	富山大学 副学長	学	
7	中村 正美	(社福) 富山市社会福祉協議会 専務理事	労	
8	橋本 淳	富山商工会議所 副会頭	産	
9	星川 圭介	富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授	学	
10	松田 智生	株式会社三菱総合研究所 経営イノベーション本部 主席研究員	産	2/9欠席
11	宮本 一成	全日本空輸(株)富山支店 支店長	産	2/9欠席
12	森田 由樹子	一般社団法人 富山県旅行業協会 理事	産	
13	山野 昌道	(株)チューリップテレビ 代表取締役社長	言	
14	山本 覚	(株)日本政策投資銀行富山事務所 所長	金	
15	綿谷 雅代	富山商工会議所女性会 会長	産	